



ジャガー・ルクルト、 第76回ヴェネチア国際映画祭のメインスポンサーに

映画文化と映画遺産の保護への貢献を続けているジャガー・ルクルトが、今年で15年目となるヴェネチア国際映画祭とのパートナーシップを祝福します。ヴェネチア国際映画祭のメインスポンサーを務めるジャガー・ルクルトは、映画祭の主要イベントに参加するだけでなく、最高級のタイムピースによってスターたちを彩り、最優秀作品賞（金獅子賞）、最優秀男優賞および最優秀女優賞（ヴォルピ杯）、栄誉金獅子賞（特別功労賞）といった名誉ある賞を受賞した方にはパーソナライズしたレベルソを進呈します。カスタマイズされた腕時計には、ジャガー・ルクルトの自社工房にて、手作業によるエングレービングが施され、ヴェネチア映画祭の公式ロゴの象徴的な一部である獅子と“76. Mostra”の文字が刻まれます。

ジャガー・ルクルトは毎年、優秀な映画製作者の創造性を称え、“現代映画に偉大な革新をもたらした（映画祭のディレクター、アルベルト・バルベラが発した言葉）”人物にグローリー・トゥー・ザ・フィルムメーカー・アワードを授与しています。今年の実績者が、以下に記載するこれまでの偉大な受賞者の仲間入りを果たすこととなります。北野武（2007年）、アッバス・キアロスタミ（2008年）、シルベスター・スタローン（2009年）、マニ・ラトナム（2010年）、アル・パチーノ（2011年）、スパイク・リー（2012年）、エットーレ・スコラ（2013年）、ジェームス・フランコ（2014年）、ブライアン・デ・パルマ（2015年）、アミール・ナデリ（2016年）、スティーブン・フリアーズ（2017年）、チャン・イーモウ（2018年）。

ジャガー・ルクルトは、186年の歴史を通じて、時計製造の伝説となるような新作モデルを常に創造しつつ、時計製造の伝統から生み出された素晴らしい遺産を確実に継承しています。卓越性を追求し、発明の精神に支えられているジャガー・ルクルトは、長きにわたり、映画の価値を高め、保存するための支援活動に携わってきました。

ジャガー・ルクルト

創設以来、ジャガー・ルクルトは正確さを完全な芸術へと昇華させ、高度なサヴォアフェール（ノウハウ）と芸術的センス、精密化と精巧な外観美の完璧な均衡を見出しました。1833年より培われた発明精神に忠実に、マニュファクチュールの職人たちは最先端の高級時計コレクションを創造しています。レベルソ、マスター、ランデヴー、そしてアトモス…。グランド・メゾンとして名高いジャガー・ルクルトが時の流れとともに築き上げた豊かな遺産は、絶え間ないインスピレーションの源となり、前例のないタイムピースを生み出すことで、時計製造の限界を押し広げていきます。